



フィリピンにて台風当時の状況を聞き取り

(特非) FoE Japan

気候変動／温暖化の影響による 損失と被害に関する 国際メカニズムの強化

一般助成

3年目

調査研究

気候変動影響と人々の
暮らしに関する映像制作

3ヵ所分

気候変動影響に関する報告会・
セミナー・シンポジウム

8回

活動の全体目標に
対する達成度

75%

課題

これまで人為的な温室効果ガス排出をしてきたのは先進国だが、気候変動影響による「損失と被害」を受けるのは、ほとんど排出してこなかった地域や人々である。

目標

気候変動影響による「損失と被害」を受ける地域や人々を救済するための国際メカニズムが、実効性のある、かつ弱者の立場を配慮した制度となるよう、国連、国際機関、日本及び各国政府が行動すること。

活動内容

アジアの途上国を対象とし、スリランカ、フィリピン、インドネシアで状況調査を行い、ショートビデオを作成して、報告・共有した。気候変動国際会議に参加して情報収集や提言活動を行い、国内でも関係省庁への提言やメディアへの共有を行った。3年目にはアジア各国から環境団体メンバーを招聘し、気候正義(Climate Justice)をテーマとしたシンポジウムを開催した。



気候変動とたたかうアジアの人々の声

達成できなかったこと

国際交渉のなかでの議論の進展、日本国内の市民社会の共有について、進められつつあるが、日本の政策変更や市民へのさらなる浸透のためには継続した活動が必要である。

今後の展望

大学生なども巻き込み、「Climate Justice(気候正義)」を訴求し実現する活動を継続する。

成果と工夫した ポイント



成果

2015年12月には「損失と被害」について言及したパリ協定が締結された。国内でも、国際協力団体との情報共有が行われ、SDGsと気候変動をテーマとしたセミナーやシンポジウムで情報共有がなされた。

工夫

より広く課題を共有するため、2年目以降、国際協力団体との連携を意識してセミナー等開催した。